

福島第一原子力発電所の状況

2015年10月6日
東京電力株式会社

< 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (10/6 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	給水系：約 2.6 m ³ /h	26.3	0.5 kPa g	A系： 0.02 vol %
		炉心スプレイ系：約 1.9 m ³ /h			B系： 0.00 vol %
2号機	淡水 注入中	給水系：約 1.8 m ³ /h	32.4	4.17 kPa g	A系： 0.02 vol %
		炉心スプレイ系：約 2.4 m ³ /h			B系： 0.02 vol %
3号機	淡水 注入中	給水系：約 2.0 m ³ /h	30.7	0.25 kPa g	A系： 0.04 vol %
		炉心スプレイ系：約 2.4 m ³ /h			B系： 0.05 vol %

< 2. 使用済燃料プール(SFP)の状況 > (10/6 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	SFP 水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	24.0
2号機	循環冷却システム	運転中	23.4
3号機	循環冷却システム	運転中	18.5
4号機	循環冷却システム	運転中	19.8

各号機 SFP および原子炉ウェルヘビドランジンの注入を適宜実施。

- ・2015/10/5 2014/8/29 に発生した3号機 SFP における燃料交換機の実験卓等の落下について、2015/10/5 採取した SFP の放射能分析結果は以下の通り。
 - ・セシウム 134:190Bq/cm³
 - ・セシウム 137:780Bq/cm³
 - ・コバルト 60 :0.59Bq/cm³
 分析結果については、前回と比較して有意な変動はなく、燃料破損の兆候は確認されていない。

< 3. 水処理設備および貯蔵設備の状況 > (10/6 11:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)	多核種 除去設備 (ALPS)	増設多核種 除去設備	高性能多核種 除去設備
運転 状況	運転中*1	運転中*1	水バランスを みて断続運転	水バランスを みて断続運転	ホット 試験中*2	ホット 試験中*2	ホット 試験中*2

*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。 *2 高性能容器(HIC)交換等を適宜実施。

< 4. その他 >

- ・2014/6/2 ~ 陸側遮水壁工事を開始。
- ・2015/4/30 12:00 ~ ブライン(不凍液)循環設備の健全性や地下水の流れによる影響等の確認のため1~4号機建屋の山側(18箇所)を対象に試験凍結を開始。
- ・2015/5/27 ~ 構内で今後使用しないフランジボルト締めタイプのRO濃縮水貯槽の解体作業を開始。
- ・2015/9/10 海側遮水壁について、鋼管矢板の打設作業を再開。9/22 に打設作業が完了、引き続き、鋼管矢板の継手処理、海側遮水壁内側の埋立を実施していく。
- ・2015/10/6 1~4号機各建屋の滞留水については、水位制御を向上させる目的から、1~4号機各建屋(タービン建屋、原子炉建屋、廃棄物処理建屋[1号機廃棄物処理建屋を除く])へ新たな滞留水移送装置を設置し、これまでに、新たに設置した滞留水移送装置の系統性能試験(通水試験)、各ポンプの流量調整等を終了し、10/6 0:00 から当該装置を使用した滞留水移送の本格運用を開始。運用開始後の漏えい等の異常は確認されていない。

また、新たに設置した滞留水移送装置は、建屋滞留水の水位制御の向上や運転員の被ばく低減等を目的として、運用開始後は移送ポンプ自動運転(各建屋滞留水移送の開始/停止を判断するためのしきい値を設定し、移送ポンプの起動/停止を自動制御)による滞留水移送を行う。

[1号機原子炉建屋カバー解体作業]

- ・2015/3/16 1号機の原子炉建屋カバー(以下、建屋カバー)解体工事に向けて準備工事を開始。
- 5/15 6:45～5/20 13:11 建屋カバー屋根パネルからの飛散防止剤の散布作業を実施。当該作業期間中において、ダストモニタおよびモニタリングポストのダスト濃度等に有意な変動なし。
- 7/17 7:06～7/21 9:10 建屋カバー屋根パネル貫通孔からの飛散防止剤の散布作業が終了。
- 7/28 建屋カバー屋根パネルの取り外し作業を開始。10/5 に全ての屋根パネルの取り外しが完了。

[サブドレン他水処理施設の状況]

- ・2015/9/3 サブドレン他水処理施設運用開始。
- 9/17～ サブドレン他水処理施設による地下水のくみ上げについて、昼間のみの間欠運転から24時間連続運転に切り替え実施。
- 10/5 サブドレン他水処理施設について、一時貯水タンクDの当社および第三者機関による分析結果[採取日9/25]については同等の値であり、運用目標値を満足していたことから、10/6 10:01より海洋への排水を開始し、13:07 海洋への排水を停止。排水量は451 m³。

[地下水バイパス揚水井の状況]

- ・地下水バイパス揚水井 No.1～12 のサンプリングを継続実施中。
- ・地下水バイパス一時貯留タンクグループ2の当社および第三者機関による分析結果[採取日9月24日]については同等の値であり、ともに運用目標値を満足していることを確認。

[1～3号機放水路の状況]

- 1～3号機放水路については、1号機放水路上流側立坑および2号機放水路立坑において、セシウム137の濃度が上昇したことから定期的に水質調査を実施。
- <最新のサンプリング実績>
- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

[構内側溝に敷設されている耐圧ホースからの漏えいについて]

- <K排水路排水口のサンプリング実績>
- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

[H4、H6エリアタンク周辺観測孔(周辺排水路含む)の状況、タンクパトロール結果関連]

- <H4エリア周辺のサンプリング実績>
- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。
- <H6エリア周辺のサンプリング実績>
- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。
- <福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績>
- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

[タービン建屋東側の地下水調査/対策工事の実施状況]

- <地下水観測孔サンプリング実績>
- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。
- <海水サンプリング実績>
- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

[地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績]

- <地下貯水槽サンプリング実績>
- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。